



# お元気ですか!

## 志村 たかよし です

第929号 2019年3月10日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

## 2019年第1回定例会

# 加藤博司議員と小栗智恵子議員が一般質問



質問する加藤議員

第一回定例会が、2月22日から3月19日の日程で開かれています。25日には、加藤博司議員と小栗智恵子議員が日本共産党中央区議団を代表して一般質問にたちました。

予算特別委員会は3月5日から15日の日程で来年度予算案が審議されますが、日本共産党からは、私と奥村暁子議員が出席しています。

### 高すぎる国民健康保険料の

#### 負担軽減を拒否する区長

一般質問に立った加藤議員は「この25年間に、1人当たりの保険料が6万5千円から9万4千円と3万円も引き上がっている」「高すぎる保険料が低所得世帯を苦しめている」と指摘し、保険料が上がるのを抑えるために区が行ってきた2億円の「法定外繰入」の削減を撤回するとともに繰り入れ額を増額すること

とを求めました。

区長は「法定外繰り入れの削減に努める」と答弁し負担の軽減を拒否しました。

### 「差押え」目標は150件以上

また、強引な「差し押さえ」をやめるよう求めましたが、区長は「差し押さえの目標は今年度150件以上としている」「差し押さえは収納相談の重要な機会」と答える冷たさでした。

#### 【質問項目】

1. 暴走する安倍政権について
2. 築地まちづくり方針（素案）について
3. 国民健康保険料について

加藤議員は「滞納者を追い詰める取り立てを止め、生活再建型で相談に乗る国保行政に切り替えるべき」と批判しました。

### 「均等割り」の軽減も拒否

国民健康保険には、所得に応じて決まる「所得割」と、0歳児を含め加入する家族の人数によって決まる「均等割」があります。

「均等割」は、家族が増えるたびに負担が増える仕組みで、会社や事業所で働く人たちの保険にはない制度です。

加藤議員は、原始的で過酷な「人头税」と同じ仕組みである「均等割り」の軽減を求めましたが、区長は「法令上の疑義があるため困難」と答弁しました。

加藤議員は、その他にも「暴走する安倍政権について」「築地まちづくり方針（素案）」について質問しました。

# 小栗議員が「区長所信表明」を批判

## 福祉の充実に背を向ける区長

小栗議員は「敬老祝品の対象年齢引き上げと贈呈額の削減」「出産支援タクシー券を3万円から1万円にする」「生活保護世帯への夏期・歳末見舞金の廃止」「介護保険利用料3%への減額制度の打ち切り」など、福祉や区民サービスの削減を進めていることは問題だと指摘しました。

そして「区民に一番身近な自治体が、防波堤になって、区民



質問する小栗議員

の暮らしや福祉を守るべき」と区長に迫りました。

区長は「公平性や負担と給付のバランスなど配慮したうえで、より効果的な施策への転換を図っていくことが重要」と、福祉の充実に背を向ける答弁をしました。

## 東京の牽引役を果たすと区長

小栗議員は、中央区のまちづくりについて「八重洲や日本橋エリアは、規制緩和の大サービスで、高さ250mを超えるような超高層ビルを乱立させ、財

### 【質問項目】

1. 区長所信表明について
2. 日本橋上空の首都高地下化について

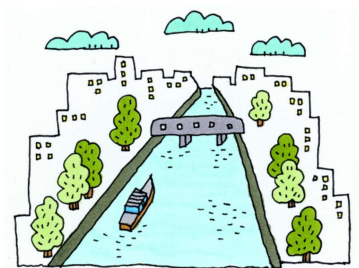
界や大企業の利益追求の再開発事業に、補助金も投入し協力している。これが区長の言う『世界一の都市を目指す東京都のけん引役』の仕事ということなのか」と批判しました。

区長は「再開発事業は『世界一の都市を目指す東京都の牽引役』を果たしているものであり、本区のまちづくりに不可欠のもの」と開き直りました。

## 首都高地下化の見直しを求める

小栗議員は「日本橋川沿いでは巨大再開発計画が進んでおり、再開発に合わせて首都高の地下化工事を進めようとしている」「日本橋コレドのある中地区は

すでに都市計画決定され、全体で5か所の再開発計画が動いており、首都高地下化とリンクさせて、空をふさぐような再開発を進めることは問題で、地権者



やその周辺でも反対の声がある」と計画の抜本的な見直しを求めました。

区長は「計画の見直しは考えていない」と答弁しました。

## 公園の全面禁煙を拒否

小栗議員は「子どもも利用する公園は全面禁煙にすべき」と提案しました。

区長は「利用状況に十分配慮したうえで、分煙環境の整備を行う」と述べただけで、公園を全面禁煙するとは言いませんでした。